

自動車盗の発生状況(令和7年11月末)

街頭
犯罪

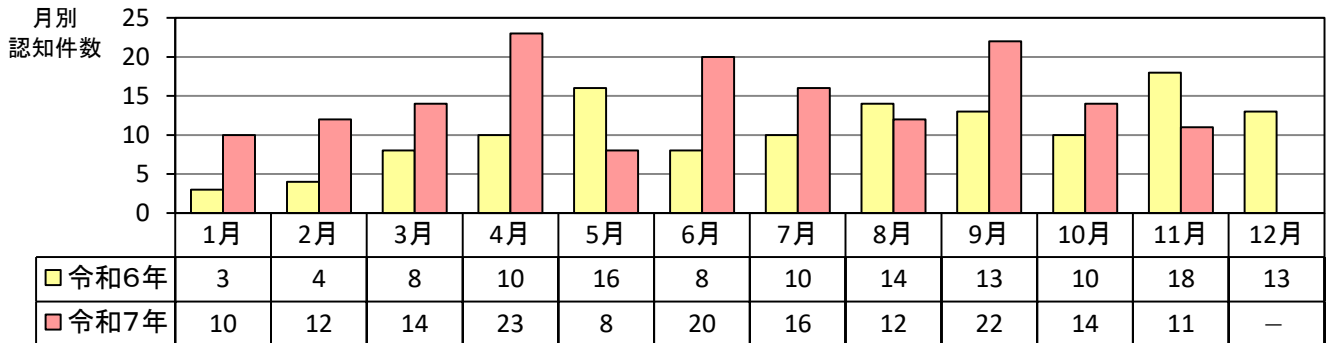
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
162	+48	+42.1%

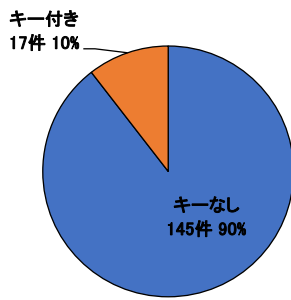
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
26 +1	16.0% -5.9%

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年11月末時点、県内における自動車盗は累計で162件発生、被害総額は約7億7,132万円、前年比+48件(増減率+42.1%)となっており、約2日に1台が盗難被害に遭っています。

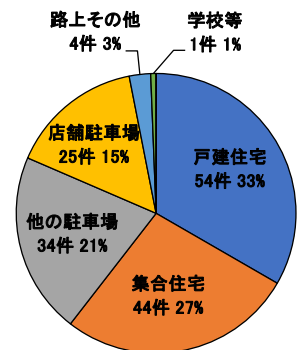


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は90%

3 被害場所



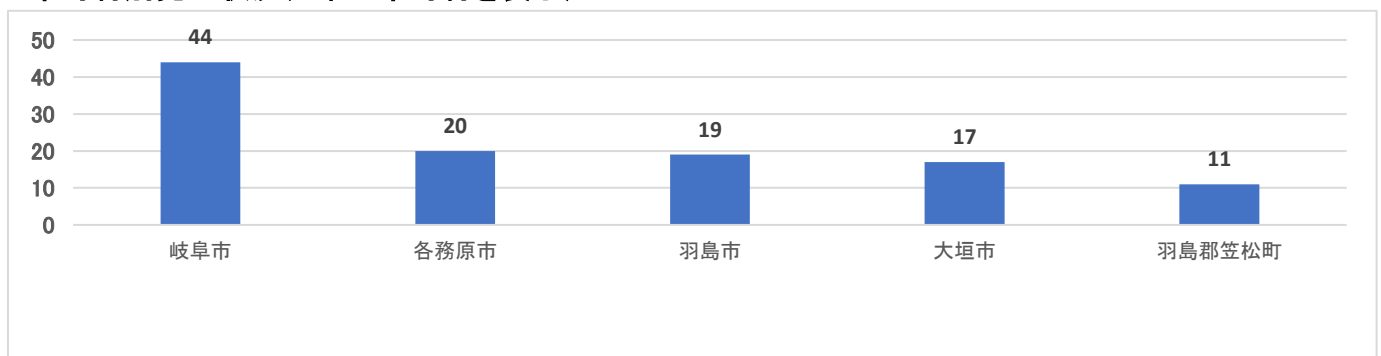
自宅周辺による被害は60%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅)

4 被害車両の種別

車種別	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
認知件数	126	6	4	0

※ 未遂 24件

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和7年11月末)

街頭
犯罪

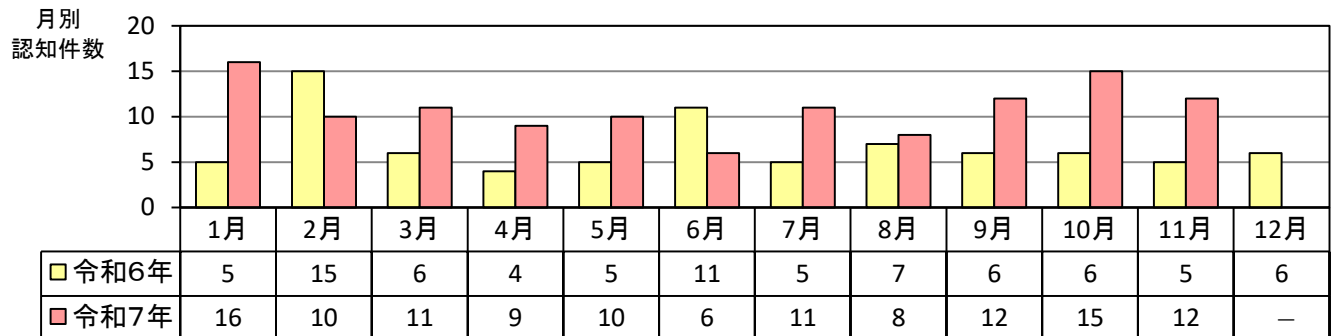
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
120	+45	+60.0%

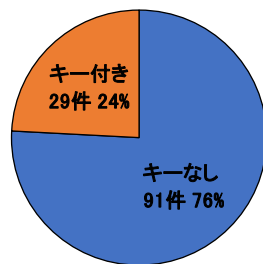
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
52 +23	43.3% +4.7%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

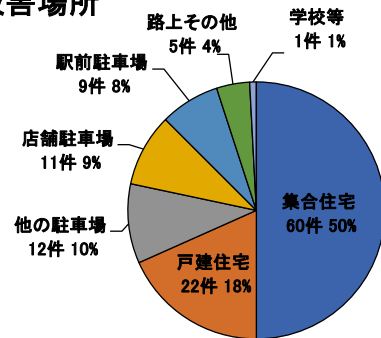
令和7年11月末時点、県内におけるオートバイ盗は累計で120件発生、前年比+45件(増減率+60.0%)となっており、120件中100件は原動機付自転車の盗難被害になります。



2 被害時におけるキー付きの有無



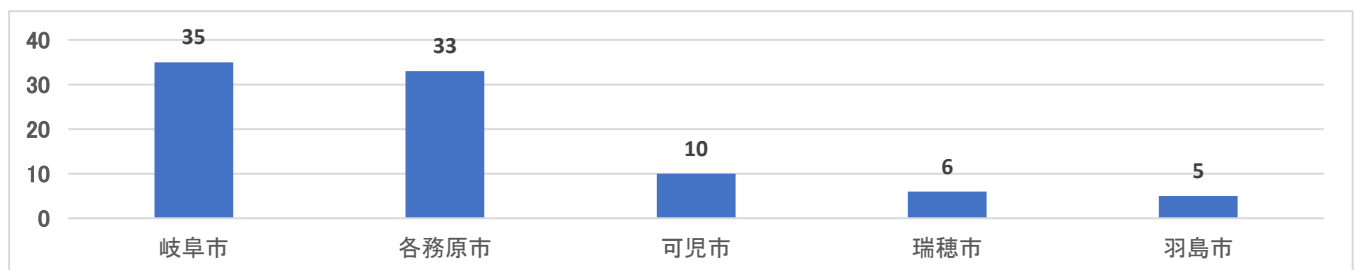
3 被害場所



4 被害者の年代

年齢別認知件数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	7	44	22	14	13	18

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和7年11月末)

街頭
犯罪

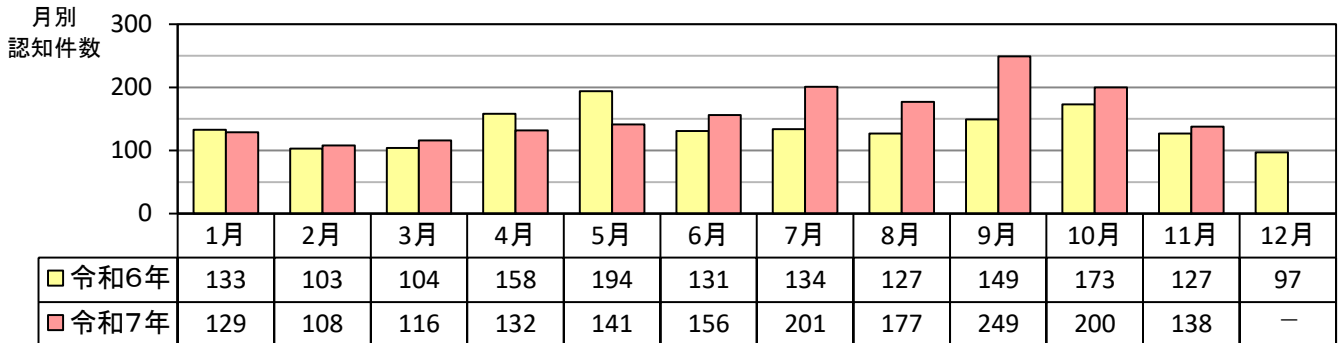
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1,747	+214	+14.0%

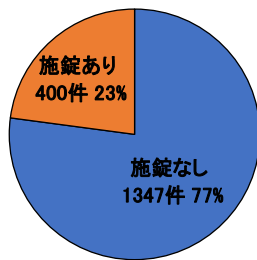
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
885 +71	50.7% -2.4%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年11月末時点、県内における自転車盗は累計で1,747件発生、前年比+214件(増減率+14.0%)となっており、刑法犯全体の約14.7%を占め、1日平均約5.2台が盗難被害に遭っています。

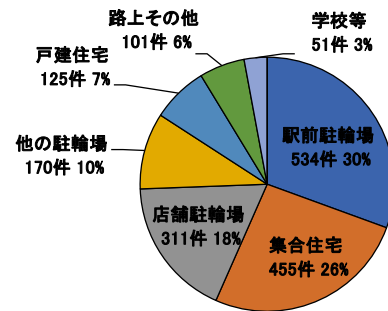


2 被害時における施錠の有無



無施錠被害は77%

3 被害場所

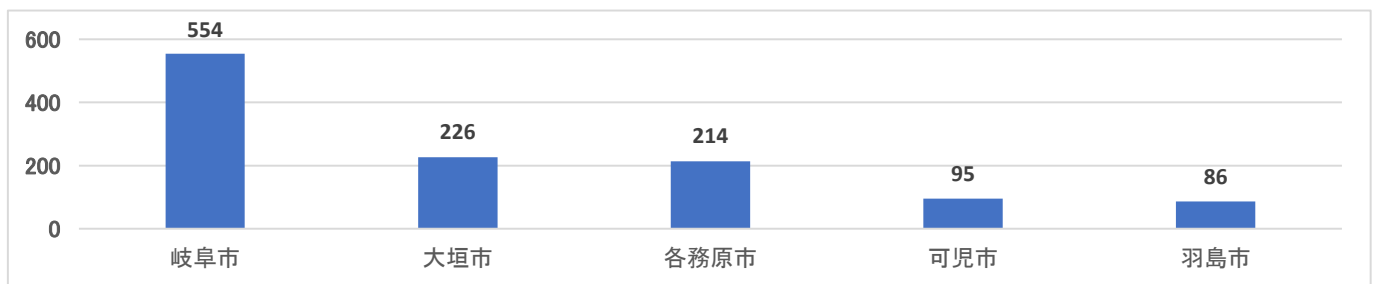


駐輪場による被害は58%
駐輪場（駅前駐輪場、店舗駐輪場、他の駐輪場）

4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	16	130	586	268	86	661
(うち無施錠)	15	110	486	209	73	454

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

車上ねらいの発生状況(令和7年11月末)

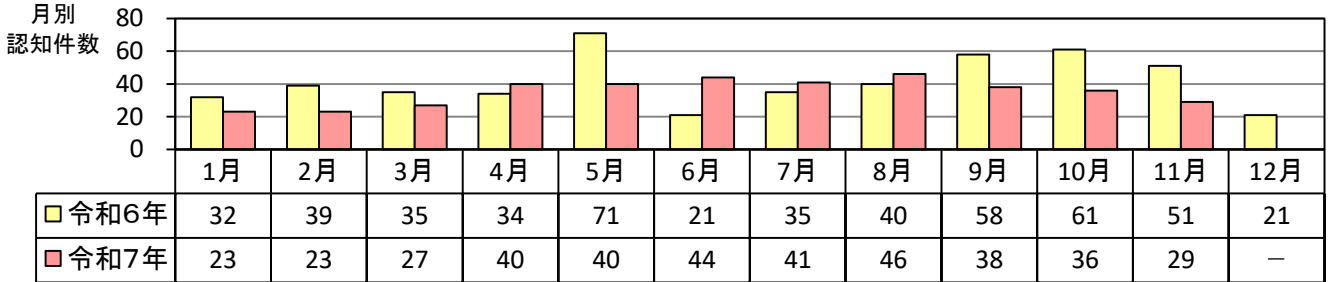
街頭
犯罪

1 認知件数

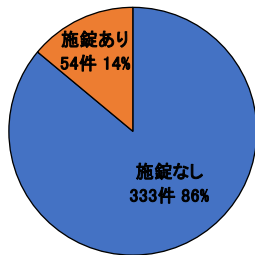
認知件数	前年比	増減率
387	-90	-18.9%

令和7年11月末時点、県内における車上ねらいは累計で387件発生、被害総額は約2,231万円、前年比-90件(増減率-18.9%)となっており、1日平均約1台が盗難被害に遭っています。

車上ねらい被害のうち333件(約86%)は無施錠の状態被害に遭っています。

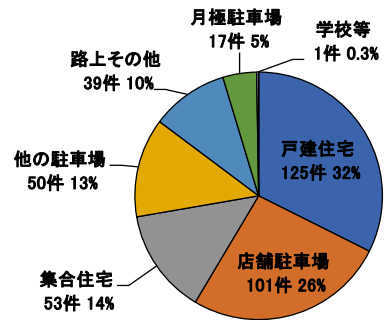


2 被害時における施錠の有無



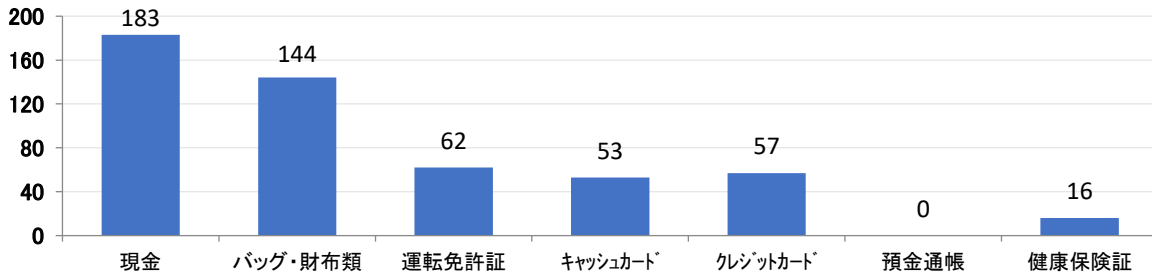
無施錠時の被害が86%

3 被害場所

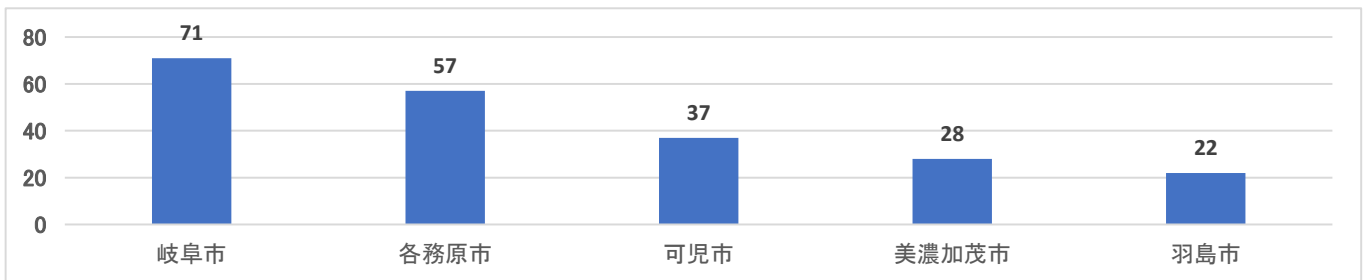


自宅周辺による被害は51%
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

4 主な被害品(被害品を複数計上)



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

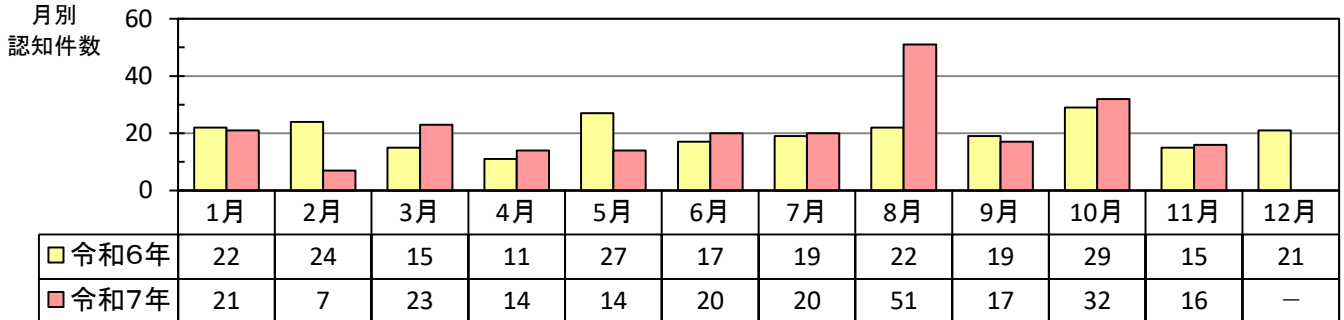
部品ねらいの発生状況(令和7年11月末)

街頭
犯罪

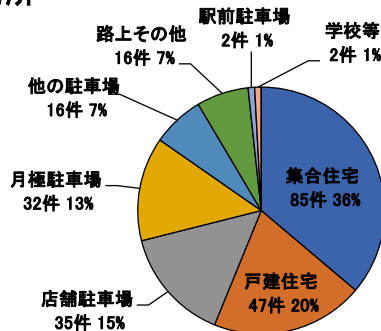
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
235	+15	+6.8%

令和7年11月末時点、県内における部品ねらいは累計で235件発生、被害総額は約549万円、前年比+15件(増減率+6.8%)となっており、1日に約1台が被害に遭っています。



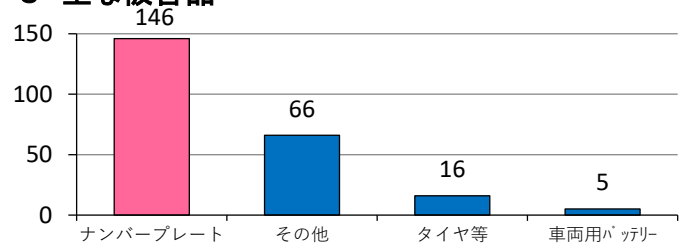
2 被害場所



自宅周辺による被害は69%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)

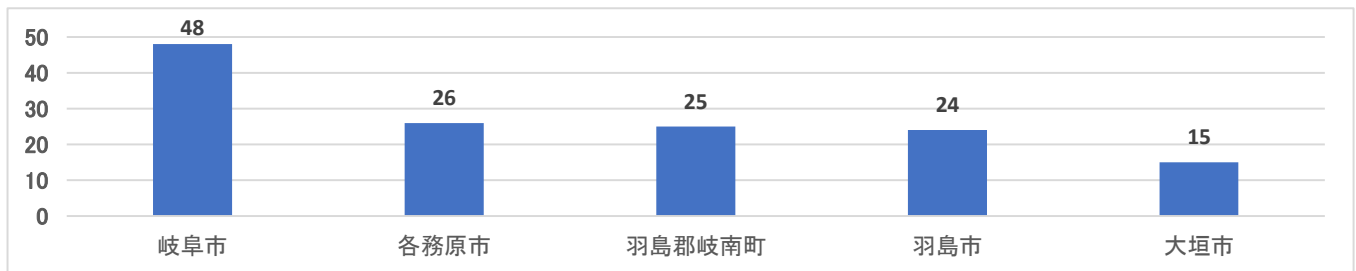


3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等が狙われている。
被害を防ぐには、
○ ナンバープレート盗難防止ネジ
○ タイヤ盗難防止ナット
○ バッテリー盗難防止ロックナット
などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要！

4 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

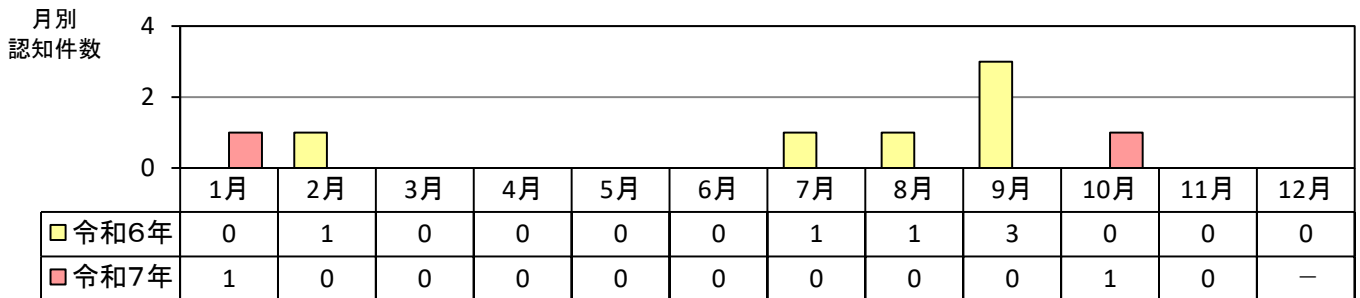
ひったくりの発生状況(令和7年11月末)

街頭
犯罪

1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
2	-4	-66.7%

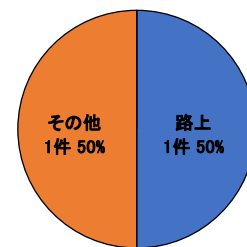
令和7年11月末時点、県内のひったくりは累計で2件発生、前年比－4件となっています。



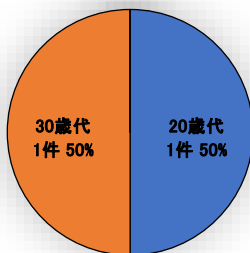
2 時間帯別発生状況



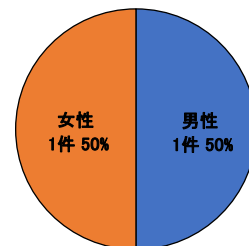
3 場所別発生状況



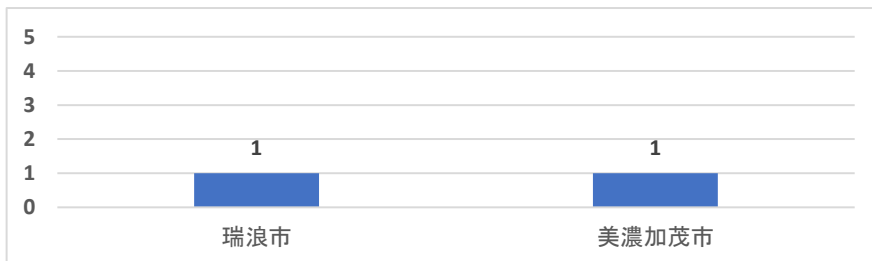
4 被害者の年齢



5 被害者の性別



6 市町村別発生状況



～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

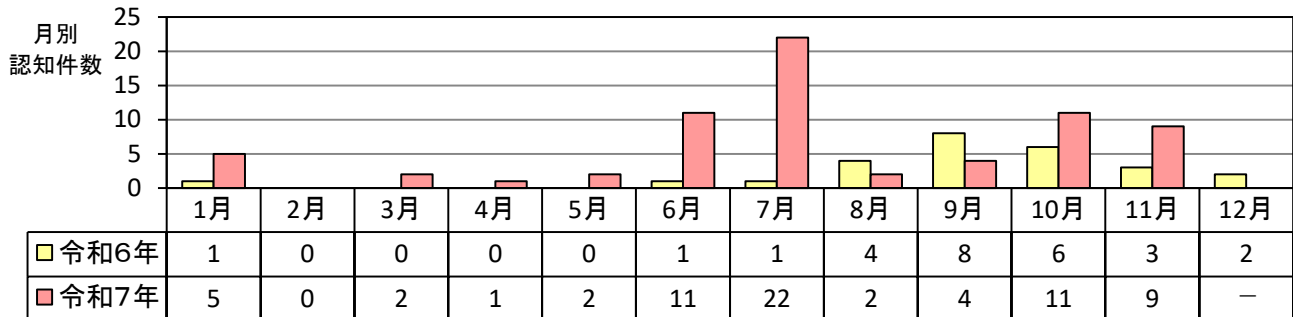
自販機ねらいの発生状況(令和7年11月末)

街頭
犯罪

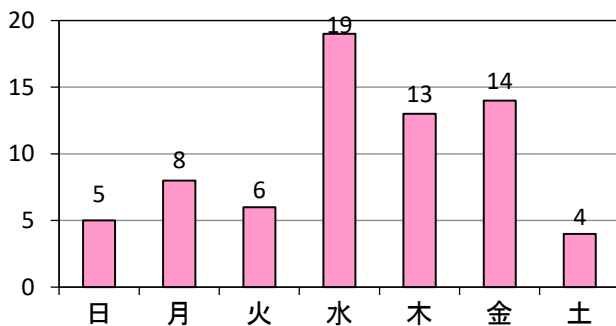
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
69	+45	+187.5%

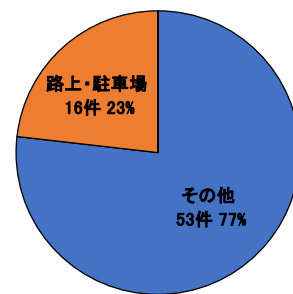
令和7年11月末時点、県内における自販機ねらいは累計で69件発生、被害総額は約133万円、前年比+45件(増減率+187.5%)となっており、約5日に1件発生しています。



2 曜日別発生状況



3 場所別発生状況



その他による被害は77%

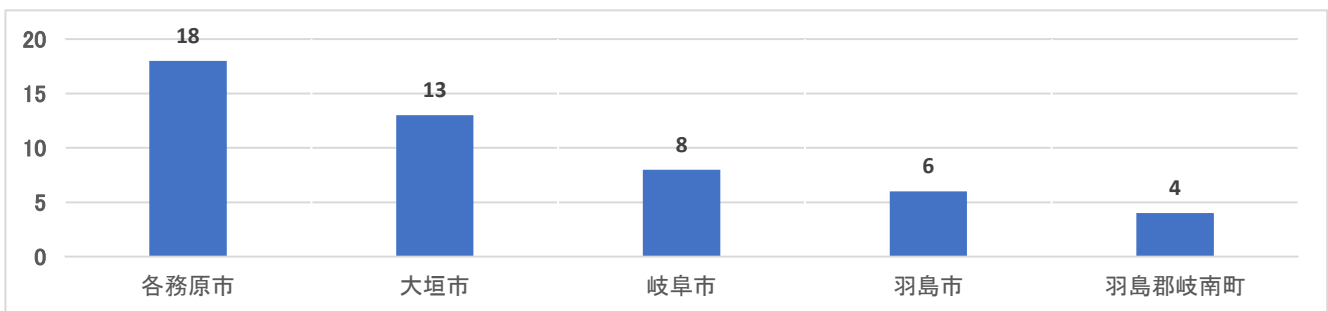
※ その他は住宅・会社・事務所など

4 地域別発生状況

地域別認知件数	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
	38	20	10	1	0



5 市町村別発生状況



～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害に遭っていることから、自動販売機自体を堅牢化しましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しましょう。

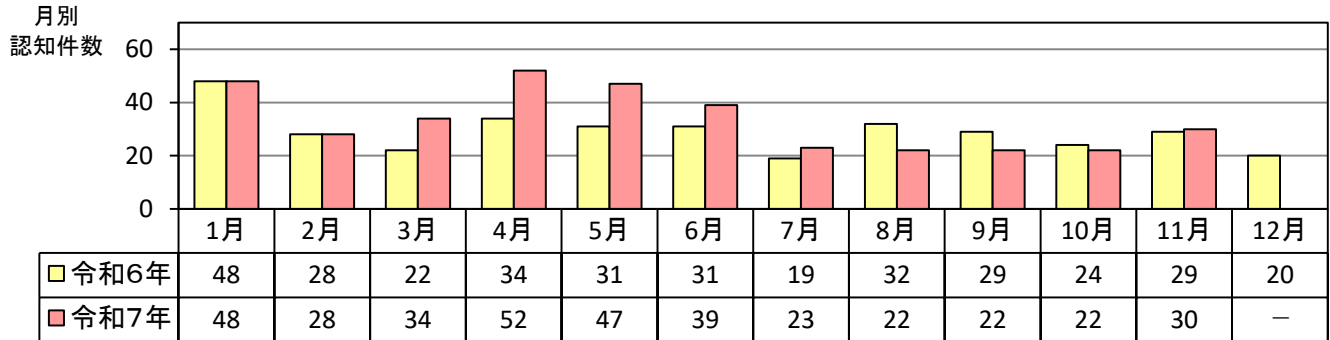
空き巣の発生状況(令和7年11月末)

侵入
犯罪

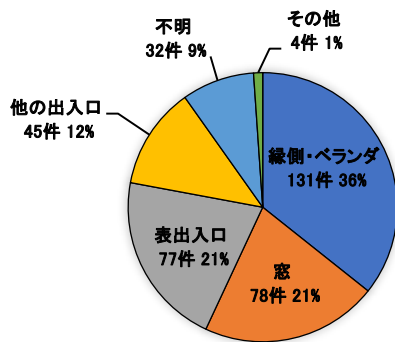
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
367	+40	+12.2%

令和7年11月末時点、県内における空き巣は累計で367件発生、被害総額は約6億9,309万円で、前年比+40件(増減率+12.2%)となっており、1日平均約1件発生しています。

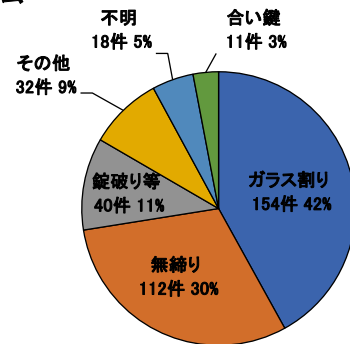


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は33%

3 侵入方法



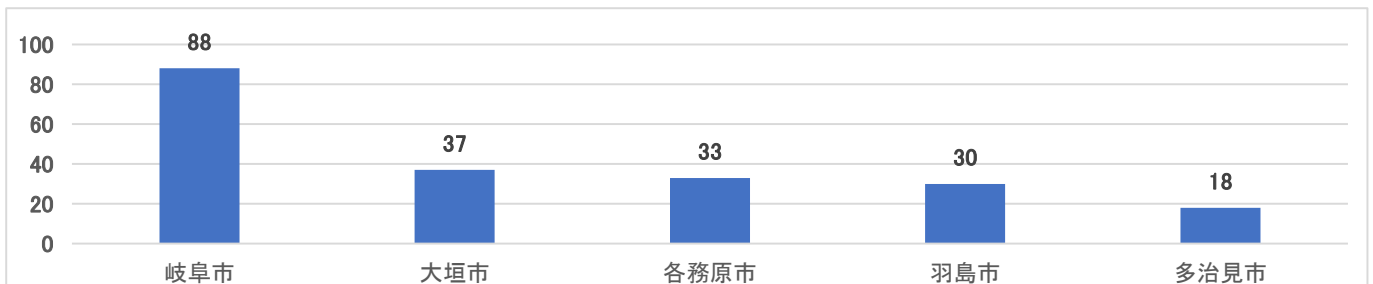
ガラス割りによる被害は42%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	307	41	13	6

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 空き巣被害防止のポイント ～

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

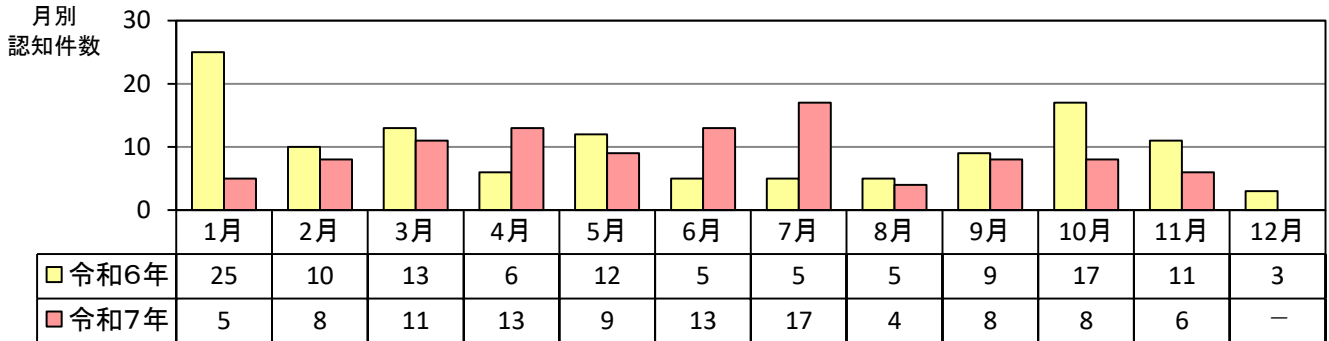
忍込みの発生状況(令和7年11月末)

侵入
犯罪

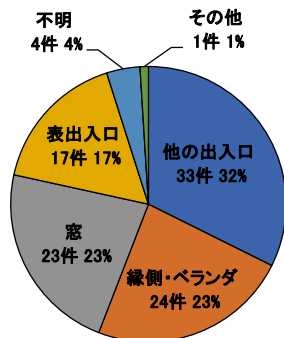
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
102	-16	-13.6%

令和7年11月末時点、県内における忍込みは累計で102件発生、被害総額は約4,393万円、前年比-16件(増減率-13.6%)となっており、約3日に1件発生しています。

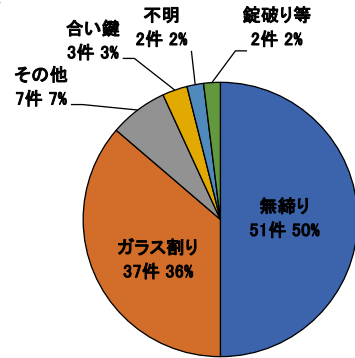


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は49%

3 侵入方法



無締りによる被害は50%

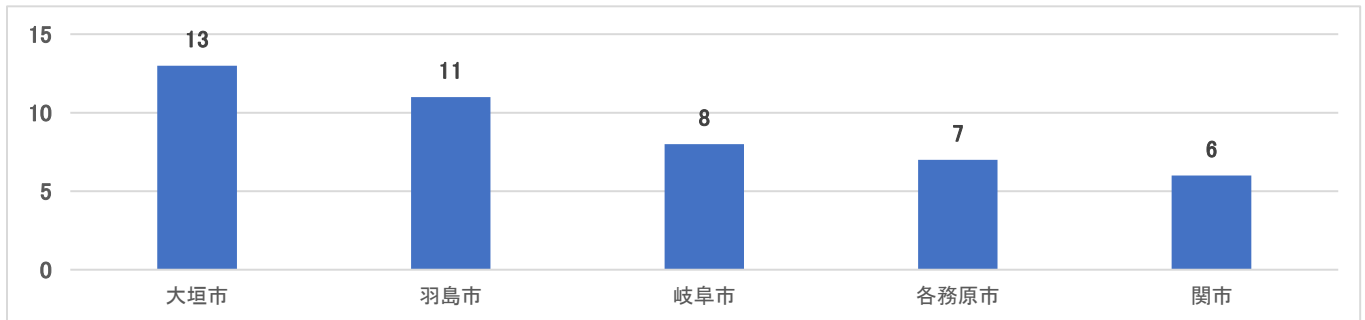
4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他の建物
	95	4	3	0

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 忍込み被害防止のポイント ～

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

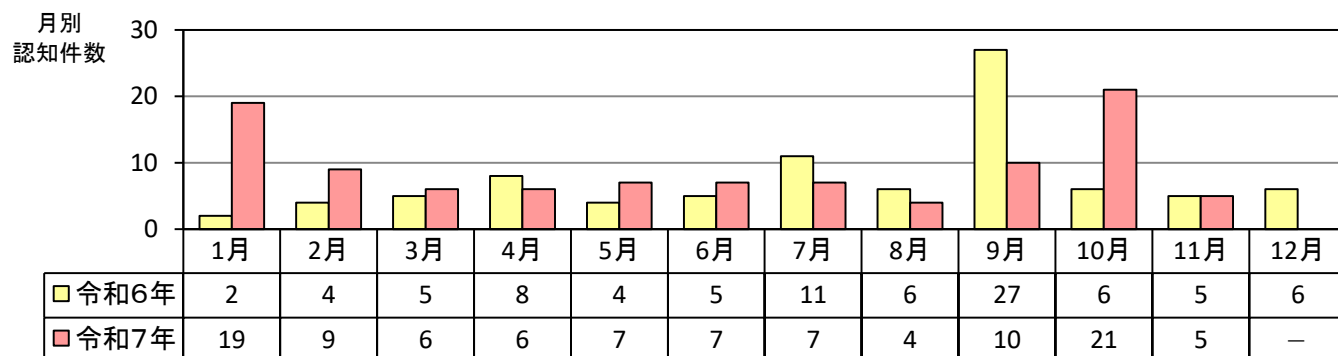
事務所荒しの発生状況(令和7年11月末)

侵入
犯罪

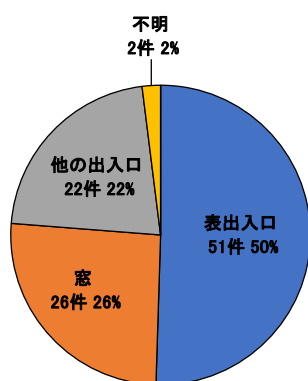
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
101	+18	+21.7%

令和7年11月末時点、県内における事務所荒しは累計で101件発生、被害総額は約2,009万円、前年比+18件(増減率+21.7%)となっており、約3日に1件発生しています。

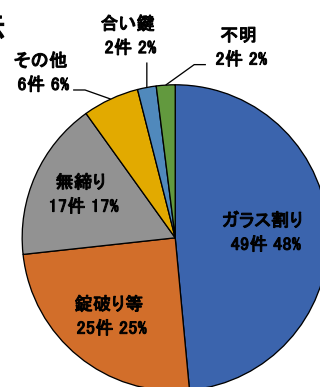


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は72%

3 侵入方法

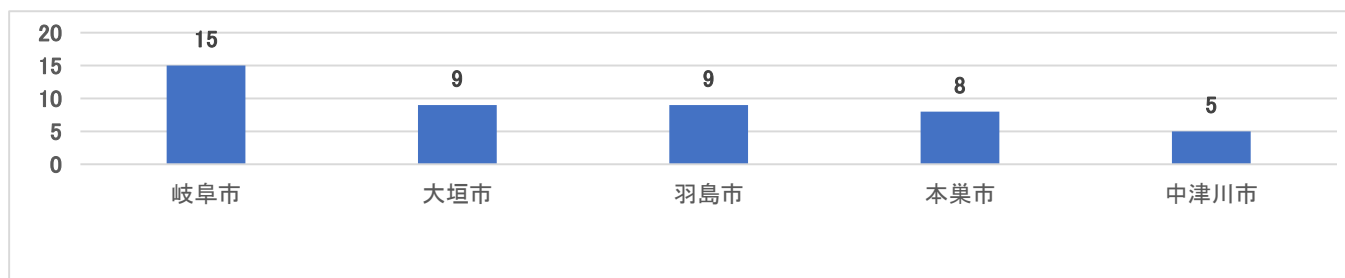


錠破り等による被害は25%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
	87	0	0	14

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

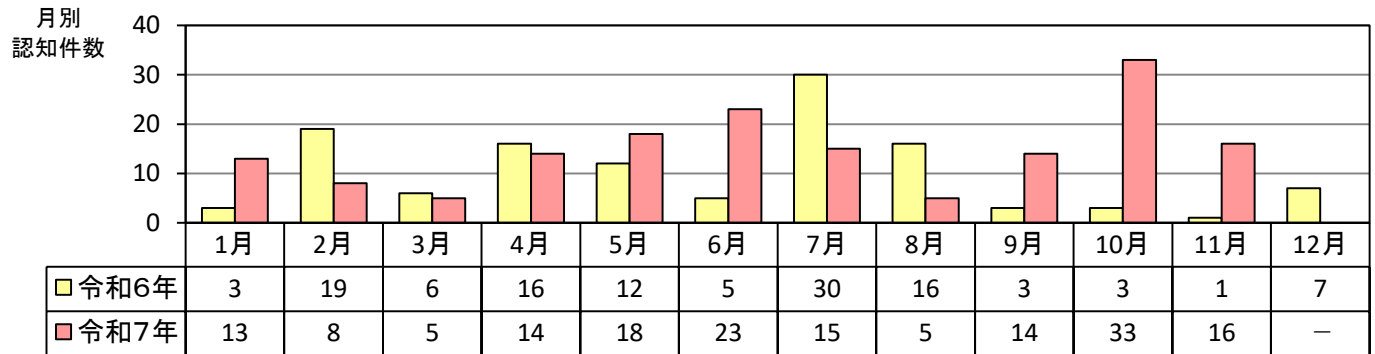
出店荒しの発生状況(令和7年11月末)

侵入
犯罪

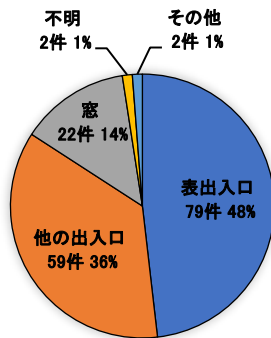
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
164	+50	+43.9%

令和7年11月末時点、県内における出店荒しは累計で164件発生、被害総額は約3,143万円、前年比+50件(増減率+43.9%)となっており、約2日に1件発生しています。

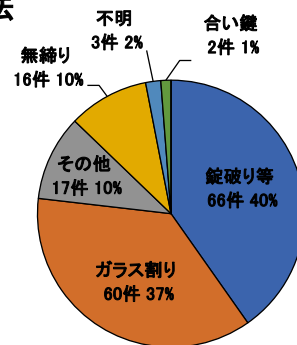


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は84%

3 侵入方法

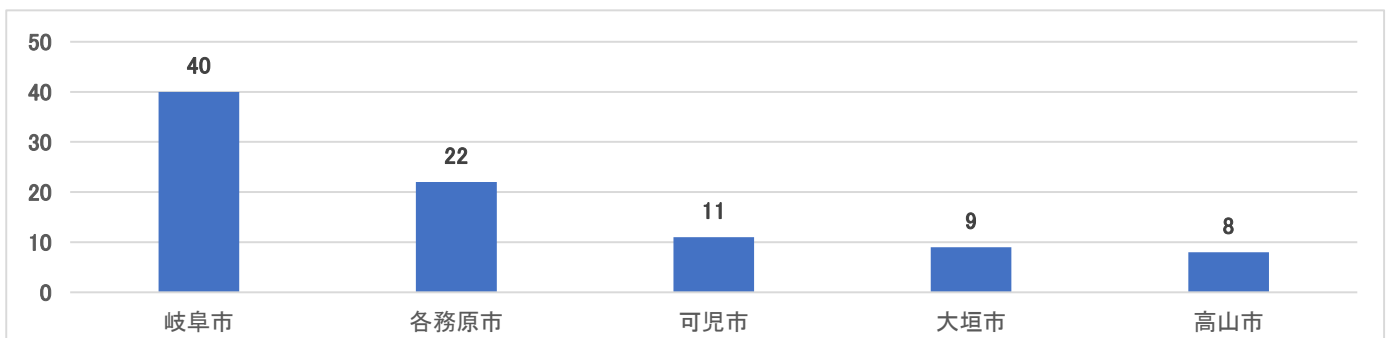


錠破り等による被害は40%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
	95	2	1	66

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

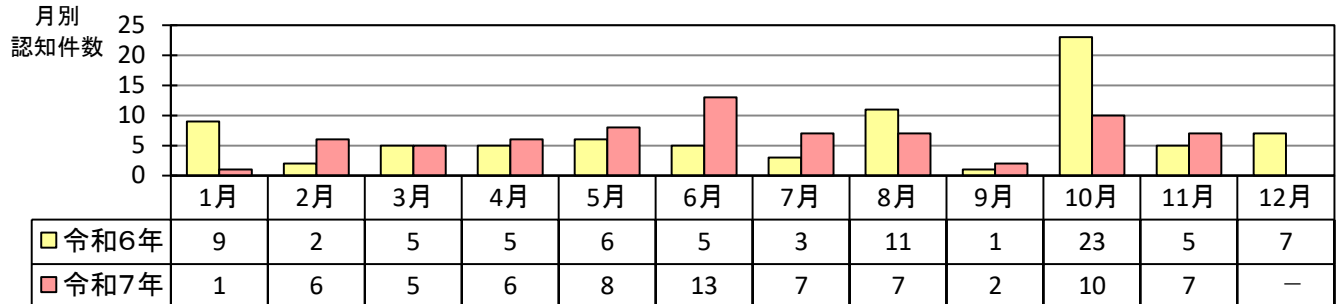
不同意わいせつの発生状況(令和7年11月末)

その他

1 認知件数

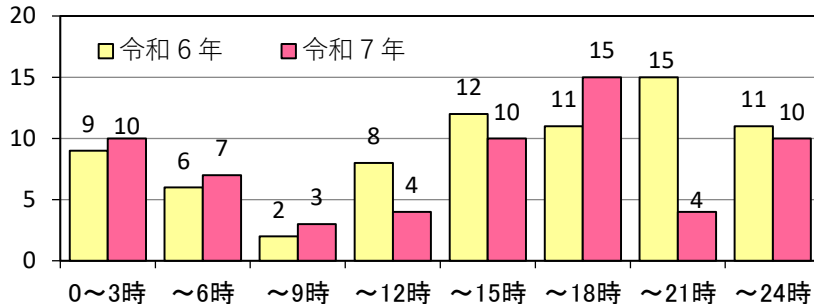
認知件数	前年比	増減率
72	-3	-4.0%

令和7年11月末時点、県内における不同意わいせつは累計で72件発生、前年比-3件(増減率-4.0%)となっています。

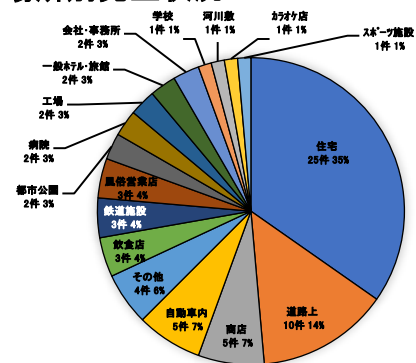


2 時間帯別発生状況

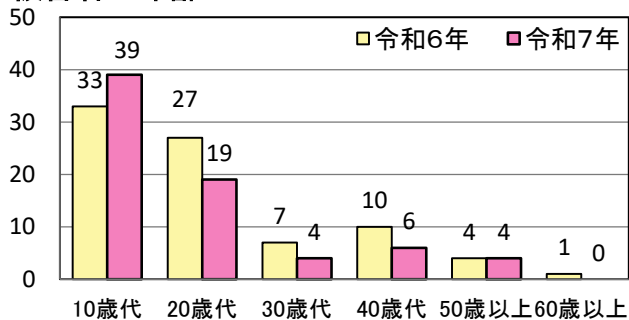
※令和6年 時間帯不明8件



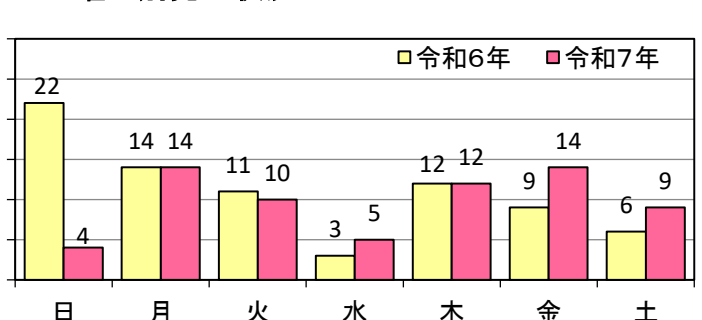
3 場所別発生状況



4 被害者の年齢

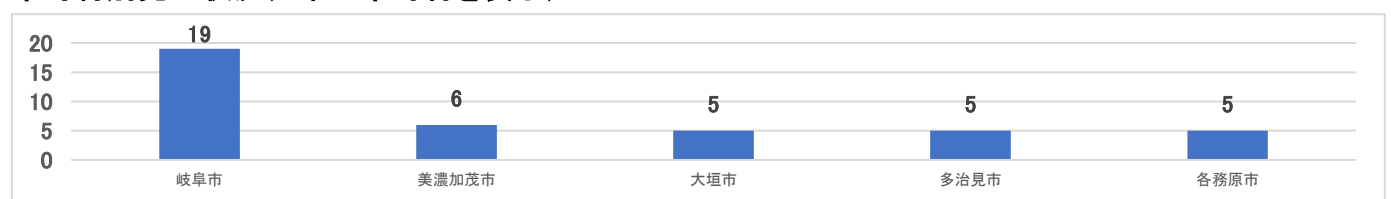


5 曜日別発生状況



※令和6年曜日不明 5件

6 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 不同意わいせつ被害防止のポイント ～

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳を塞がず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンを掛けて対応するよう心掛けましょう。

万引きの発生状況(令和7年11月末)

その他

1 万引きの認知件数

(1) 令和7年11月末

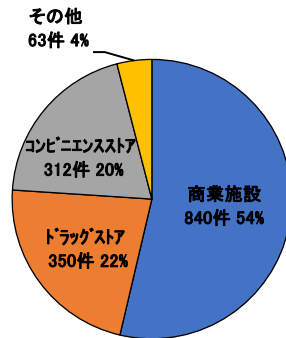
認知件数	前年比	増減率
1,565	+130	+9.1%

(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	133	118	115	139	124	128	140	105	139	155	139	131	1,566
令和7年	137	111	146	143	162	131	174	127	147	154	133	—	1,565

令和7年11月末時点、県内における万引きは累計で1,565件発生、前年比+130件(増減率+9.1%)となっています。

2 被害施設



3 被害金額

順位	場 所	被害金額 (千円)
1	商 業 施 設	17,862
2	ト ラ ッ ク ス ト ア	7,209
3	そ の 他	2,778
4	コ ン ビ ニ	585

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件当たりの被害額は、約20,600円

商業施設における被害は54%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

4 ドラッグストア対象万引き

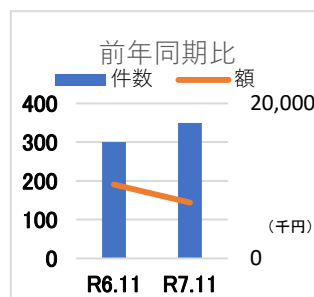
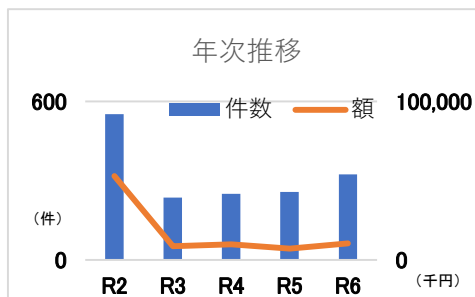
(1) 令和7年11月末

認知件数	前年比	増減率
350	+50	+16.7%

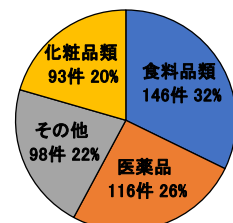
(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	32	27	36	24	17	18	33	20	25	35	33	24	324
令和7年	41	27	35	29	36	37	41	34	25	23	22	—	350

(3) 認知件数と被害額の推移



(4) 主な被害品(複数計上)



その他は、髭剃り・替え刃など

～ 万引き被害防止のポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。
3. 売り場や店舗出入口のほか、駐車場等の店舗周辺にも防犯カメラを設置しましょう。